

五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート

2020年10月30日

Safe Holiday Shopping During COVID 19

米国では感謝祭やクリスマスなどのホリデーシーズンのショッピングや移動で人混みと接する機会が増えるので、新型コロナウイルス感染から如何に自分の身を守るかということが、今最大の関心事です。

各航空会社では徹底した消毒と空気循環対策を行い、安心して機内での移動が出来る事を連日のように強く訴え、ようやく最近、飛行機の移動は安全であると認識されるようになり、徐々に国内での旅行や移動での需要が戻り始めています。

あわせて食品小売業や外食やサービス業界も価格や品揃え以上にウイルス対策の徹底をすることが、差別化に繋がりがつつあります。



ドイツ資本のディスカウントスーパーLidl社は、現在、世界32か国で11,200以上の店舗展開と287,000人の従業員を雇用し、2017年より米国への参入を東海岸からスタートし始めました。

そのLidl社が、新型コロナウイルス感染対策として病院レベルの空気清浄機を導入したニュースが話題となっています。



店舗内に新型コロナウイルスの空気拡散を減らすため、米国で展開しているすべてのLidl店舗で2020年末までに病院と同等グレードのエアフィルター（MERV 13以上）の使用を開始すると発表しました。

同社は最近発行された米国疾病対策センター（CDC）のガイドラインで、新型コロナウイルスが空中に広がる可能性がある事を受け、既存の市販フィルターを高効率のエアフィルターに置き換えた米国初のグロサリーになると公言しました。

米国の疫学者や専門家協会は、高効率のエアフィルターMERV 13以上を使用し、感染の可能性のある小さな浮遊粒子の抑え込み効果を推奨しています。

Lidl米国の最高責任者Johannes Fieber氏は「パンデミックが始まってから、弊社はCDCガイドライン以上の条件を上回ることによって、店舗内のお客様や従業員すべての人々の健康を守ることを熱心に取り組んできました。よりクリーンでよ

り健康的な空気を作り出すために行う今回の対策も、決して例外ではありません。Lidl に来店するお客様とそこで働くチームメンバーは、新型コロナウイルスへの対策が更に徹底されていることを知り、安心して店内で呼吸をすることができます。」と強調しています。

Lidl では以前からすでに高度な商業用定格の MERV ろ過システムを備えていました。

この一連の動きに対し、複数の Lidl 店舗があるバージニア州の Ralph Northam 知事とメリーランド州の Larry Hogan 知事の両者は、地元にある食品小売業が清潔で健康的な環境を提供することに心から感謝を述べています。

現在 Lidl はバージニア州アーリントンを拠点とし、東海岸の 9 つの州に 110 を超えた店舗展開を行っています。

また全世界で 1 万店、全米で 5 千店舗強を展開する小売業最大級の Walmart は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、来たる Black Friday Sale 時に一度に入店できるお客様数を通常時の 20% に制限する。と業界紙で発表しました。

毎年 Black Friday に大勢のお客様が、目玉商品を購入するため店舗にどっと押し寄せることで知られていますが、2020 年の Walmart は違います。



今年の感謝祭当日は多くの小売業が閉店する予定ですが、例年は開店していた Walmart もその1つに加わります。

そして翌日の Black Friday は午前5時に開店します。

当日はお客様が店内をショッピングする際、密を避けたために役立つ道順の表示と消毒されたカートを用意します。

例年とは劇的に異なる今年のホリデーシーズンに対し、小売業者は少しでも売り上げを確保するために早くからホリデー割引を開始しています。

先週の金曜日に発表されたショッピングセンター国際評議会の調査によると、アメリカの消費者の4分の3以上が例年よりも早めにホリデーシーズン用のショッピングをスタートしており、そのうちの約3割の消費者は、店舗で買い物する際に感染への懸念と安全対策への信頼性を強調しています。



先日オンラインニュースで、オーストラリアの科学機関 CSIRO にて“電話、ガラス、紙幣、布などの表面にコロナウイルスがどれだけ長く生き残ることができるか”についての研究が行われ、Virology Journal に掲載された結果では、ウイルスは基本的に室温でかなりの時間生息できる事が発表されていました。

そして宅配や店で購入した食料品に付着するウイルスを除菌する必要性に関する問い合わせが多い という記事が記載されていました。

それに対し米国の疫病管理センターCDCは、一般的に商品などの接触面から新型コロナウイルス感染が広がる危険性はさほど多くは無く、ウイルスの媒介する生体の蔓延に対し、リスクを軽減する手順の上でピザの箱を除菌するよりももっとシンプルなことで改善できる。と回答していました。

コロンビア大学の公衆衛生感染免疫センターのウイルス専門学者であるAngele Rasmussen博士が「ウイルスには宿主が必要であり、宿主がないと繁殖できません。どこの家庭でもウイルスの発生源となる主な場所は、モノの表面や物理的環境ではなく生活している人々です。したがって特定の場所や物にウイルスが侵入し、仮にそれに触れていたとしても手を洗う事で防ぐことが出来ます。」と述べていました。

私の周りの人にも共通している事ですが、必要以上かなと思うほど入念に手洗いをしています。

両手はクリームを塗っても追いつかないほどガサガサに荒れてしまい、このまま冬が来ると更にひどい状態になるのでは？ と心配するほどです。

ですが、コロナに感染するよりはマシだと信じ、今日もゴシゴシと両手を洗いながら、いつかこんなことも笑い話になるような日常が早く戻って来て欲しいと心底願っております。

今年のクリスマスで、サンタさんには万能な新型コロナウイルス・ワクチンとお薬、そして両手が一瞬ですべすべになる荒れ止めクリームをお願いしよう と真剣に考えております。

と、ここでレポートを終了する予定でしたが、数日前にAmazon Freshの2号店が私の自宅近隣に開店しましたので、さっそく見てきました。

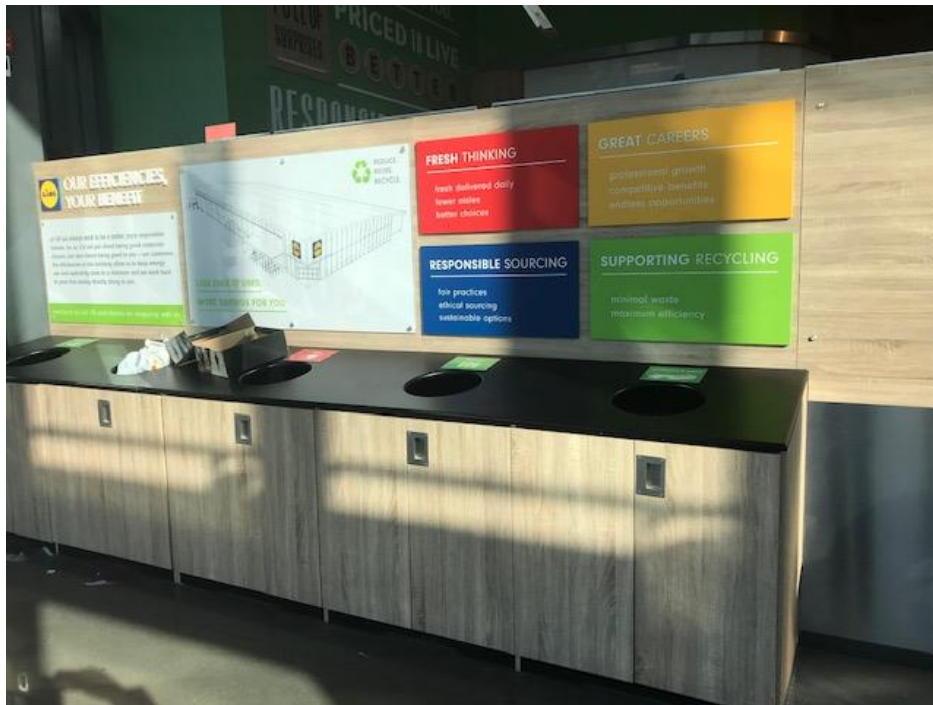
詳しい内容は次回に写真と共に記載いたしますが、一号店とは店内の配置も異なり、特に日々の買い物に便利だと思いました。

異なっている点は、肉と魚の売り場が農産売り場に直結している事です。

また一号店では入り口のすぐ右手はカスタマーサービスカウンターとピックアップの受け取り窓口でしたが、2号店はイートインがセッティングされていました

(しかしまだ使用はできませんが)。





来るべきコロナ収束も視野に入れ、店内での飲食も強化していくのかな？と思いました。

では来週には写真を沢山貼りますので、お楽しみに！